

第4回三重NST研究会学術集会

— 鈴鹿フォーラム —

日時 : 2006年12月2日(土) 13:30 ~ 16:30

場所 : 鈴鹿市文化会館 「けやきホール」

三重県鈴鹿市飯野寺家町810 電話0593-82-8111

開会の辞

情報提供

セッション

一般演題

(テーマ:アウトカム)

鈴鹿中央総合病院 院長 濱田 正行 先生

13:30 ~ 13:50

株式会社大塚製薬工場

13:50 ~ 15:00

司会 長島中央病院 名誉院長 入山 圭二 先生

済生会松阪総合病院 内科部長 清水 敦哉 先生

1. 「急性期医療に簡易嚥下誘発試験(S-SPT)の導入を試みて」

済生会松阪総合病院 言語療法室 着本 裕子先生

2. 「NST 設立から6年が経過して」

尾鷲総合病院 リハビリテーション部 矢賀 進二先生

3. 「当院における、褥瘡ハイリスク加算患者の状況」

鈴鹿中央総合病院 薬剤部 山中 祐治先生

4. 「緩和ケアNSTにより経口摂取が可能となった終末期肺癌の一症例」

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 管理栄養士 杉田 佳代先生

5. 「在宅における固形化経腸栄養の試み」

いなべ総合病院 訪問看護ステーション 守山 浩子先生

6. 「術前の経腸栄養療法が有効であった胃癌の1例」

桑名市民病院 薬剤部 金山 久美子先生

- 休憩15:00 ~ 15:30 -

セッション2 特別講演(市民公開講座)

15:30 ~ 16:30

司会 藤田保健衛生大学医学部 外科学・緩和ケア講座 教授 東口 高志 先生

『摂食・嚥下リハビリテーション～食べるリハビリテーション』

藤田保健衛生大学 医学部 リハビリテーション医学講座 教授 才藤 栄一 先生

閉会の辞

鈴鹿中央総合病院 内科 岡野 宏 先生

当日、医療及び福祉関係者は参加費として1,000円を徴収させていただき、会場の運営費に充てさせていただきたいと思っております(一般市民の方は無料です)。

尚、本研究会参加者は日本静脈経腸栄養学会認定資格栄養サポートチーム

専門療法士認定単位(5単位)・三重県病院薬剤師会生涯研修(1単位)の各単位が認定されます。

共催 三重NST研究会 / 株式会社大塚製薬工場 / 大塚製薬株式会社

後援 日本静脈経腸栄養学会 / 鈴鹿市医師会 / 三重県病院薬剤師会